

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和5 年度実施分

施設名	河辺学童保育所、霞台学童保育所、若草学童保育所		
指定管理者名	知創株式会社		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	担当課	子育て応援課
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられない子どもの健全な育成を図るため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由
管理状況	適性な管理の履行	事業報告書、月次報告書	S	協定や事業計画にもとづき、施設の設置目的に沿った事業運営ができた。人員配置については体調不良で当日休みでも代替人員を補充し、適正配置に努めた。	S	適切に業務が履行されており、保育指導についても定められた人員配置が行われている。
	事業報告	事業報告書、月次報告書	A	月次報告を、納期の延滞無く、定められた期限前に書類提出を行った。	S	定められた期限に確実に報告されている。また期限前に提出することを常態としている。
	安全性の確保	現地調査	S	「安全第一」の杜方針に則し、また協定や事業計画にもとづき、安全性確保を最優先に、施設の運営・管理を行った。	A	利用者である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。
	法令等の遵守	現地調査	S	適正に実施した。	A	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。
	業務記録	事業報告書、月次報告書	S	適正に実施した。	A	適正に実施している。
	緊急時対応	事業報告書、ヒアリング	S	災害発生時のマニュアル等を整備し、連絡体制を確認している。	A	緊急時の連絡体制や危機管理体制を整えている。
		事業報告書、ヒアリング	S	集団研修および個々の研修強化も出来て、会議にて緊急時の対応確認を行っている。	A	適時訓練や研修を実施し、緊急時の対応確認を行なっている。
	適切な財務・財産管理	事業報告書、現地調査	S	適切に実施した。	A	適切に管理している。
事業効果等	事業の取組	事業報告書、月次報告書	A	季節行事開催など積極的に取り組んだ。	A	事業計画に沿った適切な保育が実施されている。
	利用の状況	事業報告書、月次報告書	S	一部の年間計画(イベント)は実施出来なかったが、それ以外の事業計画は実施でき適切な保育を実施した。	A	事業計画に沿った適切な保育が実施されており、計画どおりの利用状況となっている。
	利用者意見の収集	アンケート	S	アンケートの実施(9月)に合わせて、利用者意見の収集に努めた。	S	利用者アンケートを実施し、利用者の意見収集が行われている。
		アンケート	A	保護者の多くの方が満足进行评估されている一方で、苦情も頂くこともありその内容等を共有し満足度を高めている。	A	利用者アンケートを実施し、概ね良い評価が得られている。
	利用者意見に対する対応	アンケート	A	アンケート内容を踏まえ、改善対応に努めた。	S	利用者アンケート等の意見に対し、必要な改善を図っている。
	行政目的の達成	事業報告書、月次報告書	S	子どもたちの安全・安心な居場所としての機能を果たした。市と情報共有を欠かさずに児童に寄り添った支援と対応ができた。	A	担当課と密に連携し、適切に運営していた。また学校等の関係機関と情報共有を行い、連携を図っている。
	その他提案内容等	事業報告書、月次報告書	A	提案した日替りプログラムは、アンケート結果や利用者の声を踏まえ、一部の実施を見合わせる事があった。	A	提案どおりに実施している。
会計	処理	事業報告書、現地調査	A	適正に整備し、管理している。	A	適正に整備し、管理されている。
	管理	事業報告書、現地調査	A	適正に管理している。	A	適正に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	事業報告書、決算報告書	S	前年度は軽微な増収であったが、今年度施設収支は人件費等の改善を行った為大幅な改善ができた。	A	法人として適切に運営されている。
		事業報告書、決算報告書	S	経常利益率は、プラスとなっている。4.06%	A	法人として適切に運営されている。
	指定管理者の収支決算状況	事業報告書、決算報告書	S	多少借入金依存の資本構造となっているが、今期は営業利益も増加傾向にあり経営は安定している。44.6%	A	法人として適切に運営されている。
		事業報告書、決算報告書	S	流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安はない。166.1%	A	法人として適切に運営されている。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
S	14
A	7
B	0
C	0

記入欄

協定や事業計画にもとづき、経営理念、保育方針に沿った事業運営を行えた。コロナの影響も落ち着き児童の表情確認や、保護者とのコミュニケーションも回復してきたが、一方体調不良にも関わらず学童の利用をされる方が多く、児童や職員への感染も多く見られた年度だった。安全・安心で楽しい学童クラブ運営を行うために、集団行動を経験していない児童も多く運営に携わるすべての支援員の質(支援スキル)の向上も事前に計画し、研修を行っていた為、安全・安心で楽しい運営ができた。

コロナの影響で地域社会との関係が中々構築が難しかったが、まずはタヤけランド等との関わりなどからスタートし、地域の活動にも参加出来る様、模索していきたいと考えている。

2 市の評価、意見等

評点	数
S	4
A	17
B	0
C	0

記入欄

- ・協定や事業計画に沿って、事業の実施・管理運営を行った。「子ども1人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが、障害の有無にかかわらず共に学び、共に喜び、生きていく楽しさを実感できる保育」を保育理念に適切に事業を運営した。
- ・児童や保護者と円滑なコミュニケーションをとっており、そのことが利用者の高い満足度につながっている。
- ・新型コロナウイルスも5類となり、これまで縮小していた行事も再開するなど児童が楽しめるような事業の実施に取り組んだ。
- ・学校や関係機関と定期的に情報共有を行い、また担当課とも連絡を密にとりながら学童保育所の運営を実施した。